

訪問看護ステーション設営演習

～新しく訪問看護ステーションを開設することになりました～



1. ねらい

- ・訪問看護の「しくみ」を理解する
- ・看護が社会資源として成り立つ仕組みに気づく
- ・なぜ【この地域】に【この訪問看護ステーション】が必要か考える

2. グループ

1G	1, 9, 22, 26, 33	5G	6,13,19,27,37
2G	2, 10, 23, 31, 39	6G	5,14,20,36,38
3G	4, 12, 17, 25, 30	7G	7,15,21,28,34
4G	3,11,18,32,40	8G	8,16,24,29,35

3. 方法

- ・以下の内容を Google スライドにまとめる。スライド数や順序は問わない。
 - ・誰が聞いてもわかりやすい発表になるよう工夫する。
- ① 訪問看護ステーション名
 - ② 訪問看護ステーションの所在地とサービス提供地域
 - ③ なぜこの地域にこの訪問看護ステーションが必要と考えたのか？
 - ・高齢化率が高い地域、病院などが少ない地域など・地域の特性を踏まえて書く。
 - ④ スタッフの人数(構成)
 - ・看護師何人？その他の職種は？リハビリ職は職種(PT/OT/ST)があります。
 - ・医師、保育士、ケアマネージャー、介護職などの多職種を配置するのであれば施設(クリニック・病院、保育園、居宅介護支援事業所、ヘルパー事業所、看護小規模多機能型居宅介護など)の併設を考えてみる。
 - ⑤ 提供したいサービス内容となぜそのサービス内容にしたのか
 - ・医療処置重視？生活支援重視？
 - ・看取り対応あり？看取りをするなら24時間対応体制は必須。
 - ・配置した職種、人員や地域の特性を踏まえてサービス内容を考える。
 - ⑥ 対象の利用者(介護度・発達段階・疾患など) 対象を限定するのであれば理由は何か？
 - ・高齢者中心、小児、がん末期 など…
 - ⑦ 運営の工夫・特色のあるサービス
 - ・強み(例:看取りに強い、小児専門など)
 - ・どんな職種・病院・施設などと連携していく？
 - ・地域との関わり(その地域ならではの連携・例えば「〇〇病院と連携」などを考える)
 - ⑧ 「このステーションを利用したい！」と思ってもらう PR

発表原稿提出期限：9月24日(木)放課後 Airdrop で井坂まで提出

4. 発表

9/25(金)1・2限目 Google スライドで発表

発表順は、くじ引き

発表時間:1 グループ 8 分 質疑応答 3 分

8:50～	準備	質疑	司会	タイムキーパー
9:05～	4G	1G	9	14
9:20～	8G	7G	↓	↓
9:35～	2G	6G	↓	↓
9:50～	3G	5G	↓	↓
10:05～	6G	4G	18	30
10:20～	5G	8G	↓	↓
休憩				
10:30～	1G	2G	↓	↓
10:45～	7G	3G		
11:00～	まとめ			

クラウドファンディングで応援しよう！

「あなたなら、どの訪問看護ステーションに100万円を出資しますか？」

利用者として、家族として、地域住民として応援したい！と思ったステーションに出資しよう。

学んだことをレポートにまとめる。

【提出:9月28日(月)10:20】※時間厳守

発表5点、レポート10点